

臨床検査のわくわくを共につくる ～技師の想いとストーリーを届けるボードゲーム～

神戸 翼¹⁾・上野 大²⁾

1) 永生総合研究所、臨床検査×わくわくプロジェクト

2) 国立大学法人弘前大学大学院保健学研究科

2022年1月23日に第1回を行い、その後、毎月第4日曜日の定期開催にて全20回行った臨床検査技師100人カイギ。毎回5名の臨床検査技師が登壇し、自らの想いとそこに至ったストーリーを語る場は、登壇した臨床検査技師100名、総参加者2113名、うち学生688名、ラスト5回の平均リピーター率84%と一部にて大きな印象を残した。病院勤めだけない、企業や行政、国際機関や起業家など、様々なバックグラウンドで活動する臨床検査技師が世界中にいて、実際に活躍できることを提案した会だったということが出来る。

この約20ヶ月間の技師ホルダーの可能性に触れ続ける機会からは、キャリアの多様性とキャリアデザインの重要性を学び、VUCAという言葉で表現される変化の激しい時代における医療を取り巻く環境変化への懸念に対して、臨床検査業界と臨床検査技師という職種の生存戦略を垣間見たとも言える。そして、100人カイギの帰結として「臨床検査×わくわくプロジェクト(略称りんわく)」が創設された。

現在、りんわくでは、100人カイギの登壇者の想いやキャリア形成の歴史を参考に、日本初となる臨床検査技師に特化したボードゲームを開発し、要望があった全国の養成校にてボードゲームを活用したキャリアデザイン講座を開講している。

今回のセッションでは、実際のボードゲームのプレイを鑑賞しつつ、臨床検査技師とボードゲームを紐付けるためのデザイン(行動・美・空間・時間)と開発秘話。養成校や現役技師向けボードゲーム活用型キャリアデザイン講座の効果。これからの臨床検査×わくわくをどのように作っていくかを独自の視点で語ってみたい。

★気になる方は、事前に「臨床検査 ボードゲーム」で検索★